

重要業績評価指標(KPI)等の達成状況と新たな指標の設定

医療				
基本目標 圏域内の救急医療を安定的に提供する体制を整えます。				
No.	区分	共生ビジョンのKPI(数値目標)	第2次共生ビジョンのKPI(数値目標)	KPI(数値目標)の考え方
1	基本目標	ドクターヘリの圏域内カバー率 基準値 100% (2014(H26)年) 現状値 100% (2018(H30)年) 目標値 100% (2018(H30)年)	ドクターヘリの圏域内カバー率 基準値 100% (2018(H30)年) 目標値 100% (2023(H35)年)	カバー率100%の現状を引き続き維持していくことを目標に設定
2	夜間急病センターの運営支援	函館市夜間急病センター利用者数 基準値 19,475人(2014(H26)年度) 現状値 18,056人(2017(H29)年度) 目標値 19,460人(2018(H30)年度)	函館市夜間急病センター利用者数 基準値 18,056人(2017(H29)年度) 目標値 18,100人(2023(H35)年度)	2017(H29)年度の利用者実績18,056人を2023(H35)年度も維持することを目標に設定
3	ドクターヘリの運航支援	事前選定冬期間使用可能ランデブーポイントの箇所数 基準値 46箇所(2016(H28)年度) 現状値 50箇所(2018(H30)年度) 目標値 H30>H28(2018(H30)年度)	事前選定冬期間使用可能ランデブーポイントの箇所数 現状値 50箇所(2018(H30)年度) 目標値 H35>H30(2023(H35)年度)	2023(H35)年度に現在よりも多くすることを目標に設定
4	二次救急医療体制の確保・維持	H30新規事業	参加病院数 基準値 11病院 (2018(H30)年度) 目標値 11病院 (2023(H35)年度)	2018(H30)年度の参加病院数(11病院)を2023(H35)年度も維持することを目標に設定
5	脳疾患救急搬送体制の運営支援	中心市の受入医療機関数 基準値 3病院(2014(H26)年度) 現状値 3病院(2017(H29)年度) 目標値 3病院(2018(H30)年度)	中心市の受入医療機関数 基準値 3病院(2017(H29)年度) 目標値 3病院(2023(H35)年度)	2017(H29)年度の受入病院数(3病院:新都市病院, 函館脳神経外科病院, 市立函館病院)を2023(H35)年度も維持することを目標に設定
6	医療情報共有化の推進	利用医療機関数 基準値 5病院, 5診療所(2016(H28)年度) 現状値 5病院, 5診療所(2017(H29)年度) 目標値 5病院, 5診療所(2018(H30)年度)	利用医療機関数 現状値 5病院, 5診療所(2017(H29)年度) 目標値 5病院, 5診療所(2023(H35)年度)	2018(H30)年の利用医療機関数(5病院, 5診療所)を2023(H35)年も維持することを目標に設定
7	救急救命士病院実習の実施	H31新規事業	圏域内の救急救命士の有資格者数 基準値 269人 (2018(H30)年度) 目標値 H35>H30 (2023(H35)年度)	2023(H35)年度の有資格者数を2018(H30)年度より多くすることを目標に設定
福祉				
基本目標 圏域内の障がい者(児)の自立と社会参加を促進します。				
No.	区分	共生ビジョンのKPI(数値目標)	第2次共生ビジョンのKPI(数値目標)	KPI(数値目標)の考え方
8	障害者地域生活支援事業の推進	H31新規事業	基幹相談支援センターにおける相談支援人数 基準値 695人 (2017(H29)年度) 目標値 H35>H30 (2023(H35)年度)	2023(H35)年の相談支援人数を2017(H29)年より多くすることを目標に設定
産業振興				
基本目標 圏域の産業振興のため、観光入込客数の増加を目指します。				
No.	区分	共生ビジョンのKPI(数値目標)	第2次共生ビジョンのKPI(数値目標)	KPI(数値目標)の考え方
9	基本目標	観光入込客数 圏域内 基準値 1,162万人 (2014(H26)年度) 現状値 1,247万人 (2017(H29)年度) 目標値 1,352万人 (2018(H30)年度)	観光入込客数 圏域内 基準値 1,247万人 (2017(H29)年度) 目標値 1,440万人 (2019(H31)年度)	北海道創生総合戦略の目標値を圏域の目標値として設定
10	広域観光の推進に係るプロモーション活動およびイベント等の実施	プロモーション活動実施回数 基準値 国内135回, 海外14回(2014(H26)年度) 現状値 国内787回, 海外70回(2015(H27)~2017(H29)年度累計) 目標値 国内600回, 海外60回(2015(H27)~2017(H30)年度累計)	プロモーション活動実施回数 基準値 国内177回, 海外19回(2017(H29)年度) 目標値 国内900回, 海外100回(2019(H31)~2023(H35)年度累計)	2017(H29)年度の活動回数を維持することを目標とし、2019(H31)~2023(H35)年度の5年間の累計を目標値として設定
11	滞在型観光メニューの共同開発	観光客の平均宿泊数 基準値 1.17日 (2014(H26)年度) 現状値 1.20日 (2017(H29)年度) 目標値 H30>H26 (2018(H30)年度)	観光客の平均宿泊数 現状値 1.20日 (2017(H29)年度) 目標値 H35>H29 (2023(H35)年度)	観光客の平均宿泊数を2023(H35)年度に2017(H29)年度より多くすることを目標に設定

12	販路開拓支援	H31新規事業	物産展・フェアの開催回数 基準値 10回 (2017(H29)年度) 目標値 10回 (2023(H35)年度)	2017(H29)年度の物産展・フェアの開催回数を2023(H35)年度も維持することを目標に設定
13	創業支援の推進	H31新規事業	創業者数 基準値 累計60件 (2015(H27)～2017(H29)年度) 目標値 累計220件 (2015(H27)～2019(H31)年度)	創業者数を2019(H31)年度に累計で220件にすることを目標に設定

地域公共交通

基本目標 バス事業等を支援し、圏域内住民の移動手段の維持・確保を図ります。

No.	区分	共生ビジョンのKPI(数値目標)	第2次共生ビジョンのKPI(数値目標)	KPI(数値目標)の考え方
14	基本目標	路線バス等の認可距離の合計 基準値 1,244.7km (2015(H27)年度) 現状値 1,257.1km (2017(H29)年度) 目標値 H30>H27 (2018(H30)年度)	乗合バス事業収支率 現状値 71.7% (2017(H29)年度) 目標値 81.1% (2023(H35)年度)	平成26年度74.4%を平成36年度81.8%(10%向上)とすることを目標とした函館市地域公共交通網形成計画に基づき平成35年度81.1%(9%向上)とすることを目標として設定
15	第三セクター鉄道への支援	1日の運行本数 基準値 37本 (2015(H27)年度) 現状値 37本 (2017(H29)年度) 目標値 37本 (2018(H30)年度)	1日の運行本数 基準値 37本 (2017(H29)年度) 目標値 37本 (2023(H35)年度)	2017(H29)年度の1日の運行本数(上下計)を2023(H35)年度も維持することを目標に設定
16	生活バス路線の維持・確保	路線バスの利用者数の増減率(A)と人口増減率(B)の差 基準値 $A(+2.1\%) > B(-1.24\%)$ (2014(H26)年度) 現状値 $A(+1.6\%) > B(-1.24\%)$ (2017(H29)年度) 目標値 $A \geq B$ (2018(H30)年度)	路線バスの利用者数の増減率(A)と人口増減率(B)の差 基準値 $A(+1.6\%) > B(-1.24\%)$ (2017(H29)年度) 目標値 $A \geq B$ (2023(H35)年度)	地域の人口減少率以上に路線バスの利用者数を減少させないことを目標に設定

道路等の交通インフラの整備

基本目標 幹線道路の整備に戦略的に取り組みます。

No.	区分	共生ビジョンのKPI(数値目標)	第2次共生ビジョンのKPI(数値目標)	KPI(数値目標)の考え方
17	基本目標	道路整備期成会要望活動回数 基準値 4回 (2014(H26)年度) 現状値 4回 (2017(H29)年度) 目標値 4回 (2018(H30)年度)	道路整備期成会要望活動回数 現状値 4回 (2017(H29)年度) 目標値 4回 (2023(H35)年度)	道や国などに対する期成会の要望活動回数を維持していくことを目標に設定
18	道路整備期成会活動の促進	道路整備期成会の組織数 基準値 4期成会 (2015(H27)年度) 現状値 4期成会 (2018(H30)年度) 目標値 4期成会 (2018(H30)年度)	道路整備期成会の組織数 基準値 4期成会 (2018(H30)年度) 目標値 4期成会 (2023(H35)年度)	期成会の数を維持することを目標に設定

地域内外の住民との交流・移住促進

基本目標 地域の活性化のために多文化共生を促進し、外国人の受入体制の充実を図ります。

No.	区分	共生ビジョンのKPI(数値目標)	第2次共生ビジョンのKPI(数値目標)	KPI(数値目標)の考え方
19	基本目標	外国人住民の人数 基準値 1,486人 (2014(H26)年) 現状値 2,029人 (2018(H30)年) 目標値 $H30 \geq H26$ (2018(H30)年度)	外国人住民の人数 基準値 2,029人 (2018(H30)年) 目標値 $H35 \geq H29$ (2023(H35)年)	外国人住民の人数が2018(H30)年を上まわることを目標に設定
20	留学生等受入体制の整備	外国人住民のうち在留資格等の区分が「留学」の人数 基準値 128人 (2014(H26)年) 現状値 126人 (2018(H30)年) 目標値 $H30 > H26$ (2018(H30)年)	外国人住民のうち在留資格等の区分が「留学」の人数 現状値 126人 (2018(H30)年) 目標値 $H35 > H30$ (2023(H35)年)	留学生の数が2017(H29)年を上まわることを目標に設定
21	外国人観光客誘客による地域国際化	外国人宿泊客数 基準値 約37万人 (2015(H27)年度) 現状値 約59万人 (2017(H29)年度) 目標値 約62万人 (2018(H30)年度)	外国人宿泊客数 基準値 約59万人 (2017(H29)年度) 目標値 $H35 > H29$ (2023(H35)年度)	外国人宿泊客数を2017(H29)年度より多くすることを目標に設定。

人材育成等				
基本目標 合同研修等により効率的な人材育成に取り組みます。				
No.	区分	共生ビジョンのKPI(数値目標)	第2次共生ビジョンのKPI(数値目標)	KPI(数値目標)の考え方
22	基本目標	合同研修参加自治体数 基準値 15 (2015(H27)年度) 現状値 17 (2017(H29)年度) 目標値 18 (2018(H30)年度)	合同研修参加自治体数 基準値 17 (2017(H29)年度) 目標値 18 (2023(H35)年度)	全自治体の参加を目標に設定
23	職員研修に係る情報共有および合同研修の実施	合同研修の参加者総数 基準値 128人(2015(H27)年度) 現状値 295人(2017(H29)年度) 目標値 150人(2018(H30)年度)	合同研修の参加者総数 現状値 295人(2017(H29)年度) 目標値 295人(2023(H35)年度)	2023(H35)年度も参加者数を維持することを目標として設定
24	高等教育機関との連携による地域マネジメント能力の向上	各プログラムにおける地域職員等の平均参加者数 基準値 35人(2016(H28)年度) 現状値 35人(2017(H29)年度) 目標値 50人(2018(H30)年度)	各プログラムにおける地域職員等の平均参加者数 基準値 35人(2017(H29)年度) 目標値 50人(2018(H30)年度)	2023(H35)年度に平均参加者数を50人とすることを目標に設定